

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和3年6月10日(2021.6.10)

【公開番号】特開2020-26828(P2020-26828A)

【公開日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2020-007

【出願番号】特願2018-151071(P2018-151071)

【国際特許分類】

F 15 B 11/16 (2006.01)

F 15 B 11/05 (2006.01)

E 02 F 9/22 (2006.01)

【F I】

F 15 B 11/16 B

F 15 B 11/05 A

E 02 F 9/22 L

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

本実施形態では、このような作用を発揮する優先弁32を機械的および油圧的に構成しており、優先弁32の動作に極力電子制御を介入させないようにしている。例えば、優先弁32は、第2ポンプライン16の開度を変更する弁体、弁体を閉じ方向に付勢するスプリング32cを備える。「設定値」は、このスプリング32cによって発揮されるバネ力によって調整される。弁体には、第2ポンプライン16の上流部16aを流れる作動油の油圧(すなわち、ポンプ13の吐出圧)が、開き方向に作用する。一方、弁体には、第1アクチュエータ11の負荷圧が閉じ方向に作用する。負荷圧を優先弁32に供給するため、優先弁32は、信号圧供給ライン18を介して二次補償ライン26と接続されている。信号圧供給ライン18は、二次補償ライン26から分岐し、優先弁32に接続されている。これにより、二次補償ライン26を流れる作動油圧が、第1アクチュエータ11の負荷圧として優先弁32に供給される。第1アクチュエータ11が複数の場合、信号圧供給ライン18は、複数の二次補償ライン26それぞれから延びる複数の分岐部18a、および、複数の分岐部18aが集合されて1系統となって優先弁32に接続される共通部18bを含む。図では、優先弁32の中立状態(ポンプ13の停止状態)において第2ポンプライン16が閉止される様子を示すが、これは単なる一例であり、第2ポンプライン16が小さな開度で開放されていてもよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

第1操作器2が第1方向に操作されれば、第1方向切換弁21が第1位置(図1の上ファンクション参照)に位置付けられ、ポンプポート21pが一次ポート21qと接続され、二次ポート21rが給排ポート21bと接続され、タンクポート21tが給排ポート2

1_aと接続される。ポンプ13からの圧油は、圧力補償弁22を介し、第1アクチュエータ11の給排ポート11_bに供給される。一例として、起動輪1は車両を前進させる前進方向（左側面視で反時計回り）に回転する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

第1操作器2が第2方向に操作されれば、第1方向切換弁21が第2位置（図の下ファンクション参照）に位置付けられ、ポンプポート21_pが一次ポート21_qと接続され、二次ポート21_rが給排ポート21_aと接続され、タンクポート21_tが給排ポート21_bと接続される。ポンプ13からの圧油が、圧力補償弁22を介し、第1アクチュエータ11の給排ポート11_aに供給される。一例として、起動輪1は車両を後進させる後進方向（左側面視で時計回り）に回転する。

【手続補正4】

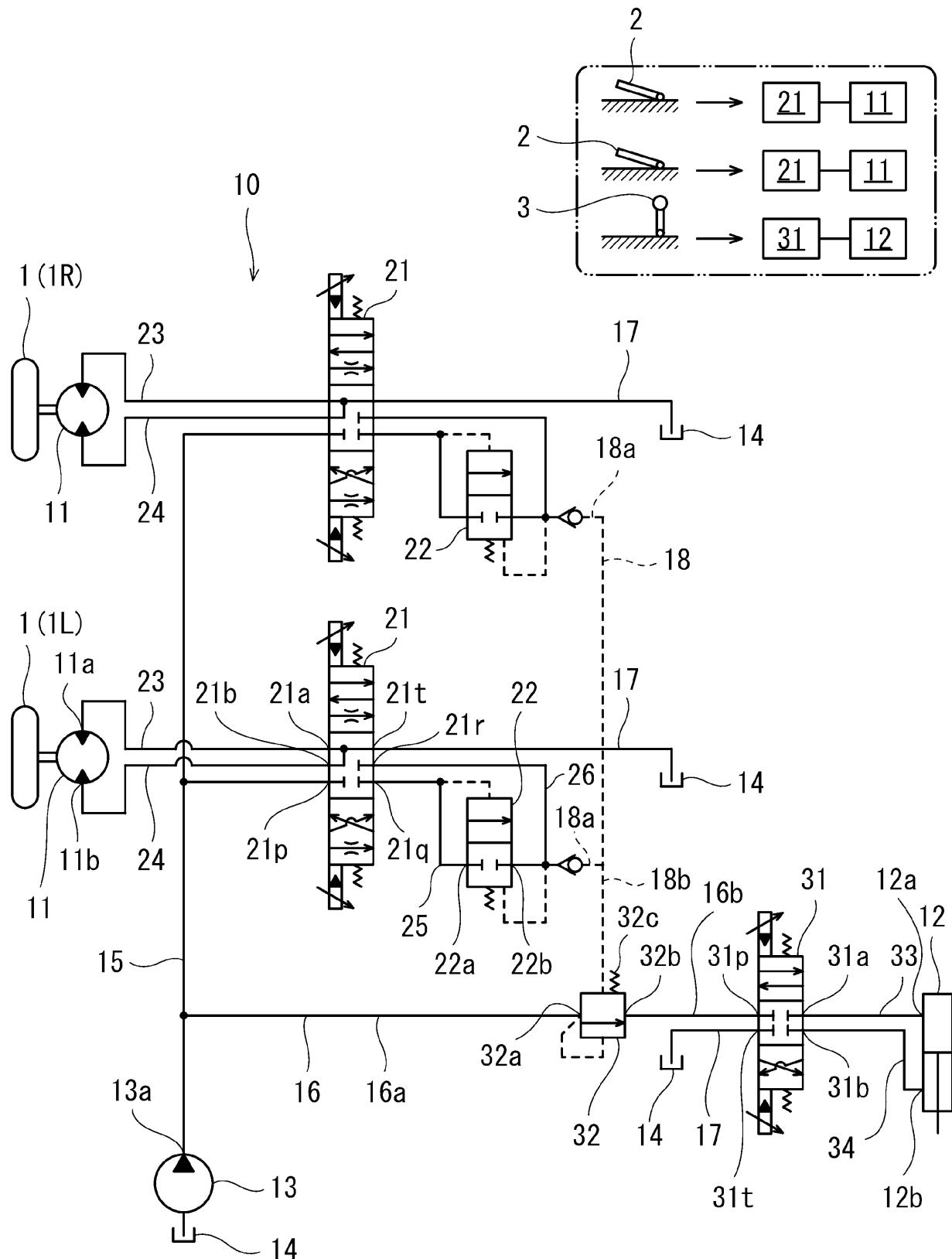
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

